毒物及び劇物の性質及び貯蔵その他取扱方法

問21　次のうち、10%製剤が劇物に該当するものはどれか。

1　　塩化水素
○2　　過酸化水素
3　　アンモニア
4　　トルエン

問22　次の記述のうち、硫酸の鑑識法として正しいものはどれか。

1　　硝酸銀溶液を加えると、赤褐色の沈殿を生じる。
2　　銅屑（くず）を加えて熱すると、藍色を呈して溶け、その際赤褐色の蒸気を生成する。
3　　アルコール溶液に、水酸化カリウム溶液と少量のアニリンを加えて熱すると、不快な刺激臭を放つ。
○4　　希釈水溶液に塩化バリウムを加えると、白色の沈殿を生じるが、この沈殿は、塩酸や硝酸に溶けない。

問23　次の記述のうち、塩化水素の常温常圧下の性状として正しいものはどれか。

1　　衝撃により爆発する。
2　　空気より重く引火しやすい。
○3　　湿った空気中で激しく発煙する。
4　　空気中では燃焼しないが、酸素中では黄色の炎をあげて燃焼し、主として窒素及び水を生成する。

問24　次のうち、毒物劇物特定品目販売業の登録を受けた者が販売できるものはどれか。

1　　硅弗化（けいふっ）マグネシウム
○2　　塩基性酢酸鉛
3　　硝酸鉛
4　　水銀

問25　次の方法で貯蔵することが最も適当なものはどれか。

二酸化炭素と水を吸収する性質が強いため、密栓して保管する。

○1　　水酸化ナトリウム
2　　一酸化鉛
3　　キシレン
4　　クロロホルム

問26　次のうち、重クロム酸ナトリウムの廃棄方法として最も適切なものはどれか。

1　　燃焼法
2　　希釈法
○3　　還元沈殿法
4　　酸化法

問27　多量に漏えい又は飛散した場合に、次の措置を行うことが最も適当なものはどれか。

極めて腐食性が強いので、作業の際には必ず保護具を着用する。必要があれば漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。 多量に漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、土砂等に吸着させるか、または安全な場所に導いて多量の水をかけて洗い流す。必要があればさらに中和し、多量の水で洗い流す。

○１　水酸化カリウム
　２　メタノール
　３　酢酸エチル
　４　キシレン

問28　次のうち、メタノールの解毒剤として最も適切なものはどれか。

　１　酸素
　２　ヒドロキソコバラミン
　３　硫酸アトロピン
○４　ホメピゾール

問29　次の［　A　］及び［　B　］に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

> ホルマリンを水浴上で蒸発させると、水に［　A　］、白色、無晶形の物質を残す。また、ホルマリンに硝酸を加え、さらにフクシン亜硫酸溶液を加えると、［　B　］を呈する。

	A		B
1	溶けやすい	－	赤色
2	溶けやすい	－	藍紫色
3	溶けにくい	－	赤色
○4	溶けにくい	－	藍紫色

問30　次のうち、クロロホルムの毒性として最も適当なものはどれか。

○1　原形質毒であり、脳の節細胞を麻酔させ、赤血球を溶解する。
2　血液中のカルシウム分を奪取し、神経系を侵す。
3　人体に触れると、激しい火傷をきたす。
4　神経細胞内でギ酸が生成されることにより、視神経が侵され、目がかすみ、失明することがある。

毒物及び劇物の識別及び取扱方法

問31　次の記述のうち、メチルエチルケトンの常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

○１　　アセトン様の芳香を有する無色の液体で、水に溶ける。
　２　　アセトン様の芳香を有する無色の液体で、水に溶けない。
　３　　アセトン様の芳香を有する黄緑色の液体で、水に溶ける。
　４　　アセトン様の芳香を有する黄緑色の液体で、水に溶けない。

問32　次のうち、メチルエチルケトンの用途として最も適するものはどれか。

　１　　漂白剤
○２　　溶剤
　３　　酸化剤
　４　　香料

問33　次の記述のうち、四塩化炭素の常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

○１　　麻酔性の芳香を有する無色の液体で、水に溶けにくい。
　２　　麻酔性の芳香を有する無色の液体で、水に溶けやすい。
　３　　麻酔性の芳香を有する無色の気体で、水に溶けにくい。
　４　　麻酔性の芳香を有する無色の気体で、水に溶けやすい。

問34　次のうち、四塩化炭素の用途として最も適するものはどれか。

　１　　香料
　２　　接着剤原料
　３　　蛍光剤
○４　　分析用溶媒

問35　次の記述のうち、蓚酸の常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　赤色の稜柱状の結晶で、エーテルに溶けやすい。
2　赤色の稜柱状の結晶で、エーテルに溶けにくい。
3　無色の稜柱状の結晶で、エーテルに溶けやすい。
○4　無色の稜柱状の結晶で、エーテルに溶けにくい。

問36　次のうち、蓚酸の用途として最も適するものはどれか。

1　金属鍍金
2　酸化剤
○3　捺染剤
4　界面活性剤

問37　次の記述のうち、トルエンの常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　可燃性の気体で、水に極めて溶けにくい。
2　可燃性の気体で、水に溶けやすい。
○3　可燃性の液体で、水に極めて溶けにくい。
4　可燃性の液体で、水に溶けやすい。

問38　次のうち、トルエンの用途として最も適するものはどれか。

1　釉薬
2　還元剤
○3　香料
4　防錆剤

問39　次の記述のうち、塩素の常温常圧下での性状として正しいものはどれか。

1　　窒息性臭気を有する黄緑色の液体である。
○2　　窒息性臭気を有する黄緑色の気体である。
3　　窒息性臭気を有する無色の液体である。
4　　窒息性臭気を有する無色の気体である。

問40　次のうち、塩素の用途として最も適するものはどれか。

○1　　殺菌剤
2　　防錆（せい）剤
3　　還元剤
4　　発色剤